

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／債券
信託期間	2019年6月21日まで（2014年6月30日設定）
運用方針	<p>米国企業が発行する米ドル建ての社債（投資適格社債およびハイイールド債券等）等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざします。原則として、信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行います。組入れにあたっては、投資適格社債中心に投資を行います。ただし、信託期間内に組入債券が償還した場合等には、米国債等に再投資することがあります。そのため、米国企業が発行する米ドル建ての社債の組入比率が低下することがあります。</p> <p>債券等の運用にあたっては、プリンシパル・グローバル・インベスターズ・エルエルシーに運用指図に関する権限を委託します。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。</p>
主要運用対象	米国企業が発行する米ドル建ての社債（投資適格社債およびハイイールド債券等）等を主要投資対象とします。
主な組入制限	<p>株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>外貨建資産への投資割合に制限を設けません。</p>
分配方針	元本超過額または経費等控除後の配当等収益のいずれか多い額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# 米国社債ファンド （為替ヘッジあり）2014-06

愛称：アメリカン・コレクション



第1期（決算日：2015年6月24日）



### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「米国社債ファンド（為替ヘッジあり）2014-06（愛称：アメリカン・コレクション）」は、去る6月24日に第1期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

三菱UFJ投信株式会社は2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となる予定です。



## 三菱UFJ投信

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 URL: <http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

営業企画推進部 TEL. 0120-151034  
 お客様専用フリーダイヤル (9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)  
 お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

# ◆目次

## 米国社債ファンド(為替ヘッジあり)2014-06のご報告

◇設定以来の運用実績	1
◇当期中の基準価額と市況等の推移	1
◇運用経過	2
◇今後の運用方針	6
◇1万口当たりの費用明細	7
◇売買及び取引の状況	7
◇利害関係人との取引状況等	8
◇組入資産の明細	8
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	11
◇お知らせ	11

**本資料の表記にあたって**

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

**○設定以来の運用実績**

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率				受 益 回 り	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	元 残 存 本 率
		税 分	込 配	み 金	期 騰				
(設定日)	円		円		円		%		%
2014年6月30日	10,000		—		—		—		—
1期(2015年6月24日)	9,785		0		△215		△2.2		97.8

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは、米国企業が発行する米ドル建ての社債(投資適格社債およびハイイールド債券等)等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

**○当期中の基準価額と市況等の推移**

年 月 日	基準価額	騰落率		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰	落		
(設定日)	円		%		%
2014年6月30日	10,000		—		—
7月末	9,903		△1.0		97.7
8月末	9,988		△0.1		97.0
9月末	9,826		△1.7		92.8
10月末	9,885		△1.2		92.5
11月末	9,877		△1.2		98.2
12月末	9,696		△3.0		95.5
2015年1月末	9,726		△2.7		94.0
2月末	9,865		△1.4		95.3
3月末	9,832		△1.7		95.8
4月末	9,890		△1.1		94.8
5月末	9,879		△1.2		96.6
(期 末)					
2015年6月24日	9,785		△2.2		97.8

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 騰落率は設定日比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## 運用経過

当期中の基準価額等の推移について

（第1期：2014/6/30～2015/6/24）

基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ2.2%の下落となりました。



第1期首 : 10,000円  
 第1期末 : 9,785円  
 (既払分配金 0円)  
 騰落率 : -2.2%

### 基準価額の主な変動要因

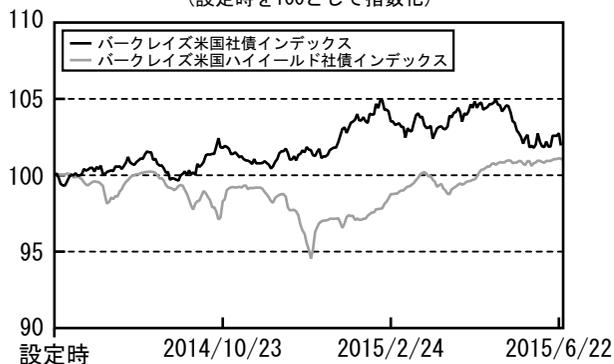
上昇要因	債券利子収入を享受したことが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	保有していた一部のエネルギー関連銘柄などの下落や信託報酬等の費用等が基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境について

（第1期：2014/6/30～2015/6/24）

## 債券市況の推移

（設定時を100として指数化）



（注）現地日付ベースで記載しております。

（注）バークレイズ米国社債インデックスとは、バークレイズが算出する米国の投資適格社債の値動きを表す指数です。バークレイズ米国ハイイールド社債インデックスとは、バークレイズが算出する米国のハイイールド社債の値動きを表す指数です。上記バークレイズ・インデックスは、バークレイズ・バンク・ピーエルシーおよび関連会社（バークレイズ）が開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はバークレイズに帰属します。

## ◎債券市況

設定以来の米国社債（投資適格社債およびハイイールド債券など）市況は小幅上昇（利回りは低下）しました。

- ・ 設定時から2015年1月下旬にかけては、投資適格社債市況については、原油価格の急落を受けてインフレ期待が後退したことやECB（欧州中央銀行）が追加的な金融緩和策を決定したことなどから上昇しました。一方、ハイイールド社債市況については、米国金利が低下したことはプラスとなったものの、原油価格の急落を受けて投資家のリスク回避的な動きが強まったことからスプレッド（国債に対する上乘せ金利）が拡大したことなどがマイナスとなり、下落しました。
- ・ 2015年2月上旬から期末にかけて、投資適格社債市況は、原油価格が反発したことやデフレ懸念の後退を背景に欧州金利が急上昇したことを受けて米国金利が上昇したことなどから、下落しました。一方、ハイイールド社債市況については、原油価格の反発などを背景に投資家のリスク回避的な動きが後退したことからスプレッドが縮小し、上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・当ファンドは、米国企業が発行する米ドル建ての社債などを主要投資対象とし、投資適格社債を中心に投資を行いました。銘柄選定にあたっては、信用リスクに配慮しつつ発行体のファンダメンタルズに照らして相対的にクレジット・スプレッドが厚く、投資妙味があるとみられる債券を中心に投資しました。また、信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行い、原則として償還まで保有するバイ・アンド・ホールド戦略を採用した運用を行いました。
- ・組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかりました。
- ・当期は、債券利子収入を享受したことなどがプラスとなったものの、保有していた一部のエネルギー関連銘柄などの下落や信託報酬等の費用等がマイナスとなり、基準価額は設定時に比べ下落しました。

## （ご参考）

### 利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

期末（2015年6月24日）

最終利回り	4.3%
直接利回り	5.3%
デュレーション	3.2年

- ・最終利回りは、原則として個別債券等における満期利回り（個別債券を償還日まで保有した場合の複利利回り）と、コール利回り（個別債券におけるコール（早期償還）日に早期償還されると仮定した場合の複利利回り）のうち、最も利回りが低いものを採用し、それらを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、原則として上記最終利回りを算出する際の償還日を用いて算出しています。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

下記は、プリンシパル・グローバル・インベスターズ・エルエルシー（プリンシパル社）提供の資料に基づき作成した運用状況です。

（ご参考）

種別構成

2015年5月末

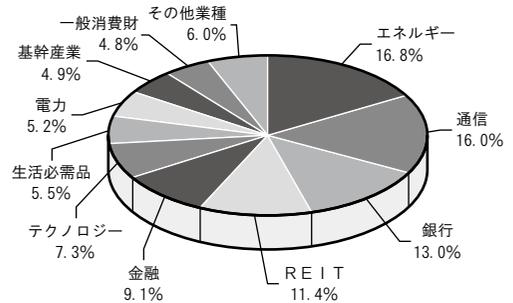
投資適格社債	59.8%
ハイイールド債券	40.2%
その他債券	0.0%

- ・比率は現物債券評価額に対する割合です。
- ・種別構成は、プリンシパル・グローバル・インベスターズ・エルエルシー（プリンシパル社）が独自に分類したものです。
- ・その他債券は、米国債等の債券です。

（ご参考）

業種別組入比率

2015年5月末



- ・比率は現物債券評価額に対する割合です。
- ・業種は、債券の発行体企業について分類したものです。
- ・業種はバークレイズ社の業種区分に基づいておりますが、一部プリンシパル社の判断に基づき分類したものが含まれます。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、米国企業が発行する米ドル建ての社債（投資適格社債およびハイイールド債券等）等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配金】

決算期	1万口当たり分配金（税込み）
第1期	0円

## 今後の運用方針

### ◎運用環境の見通し

- ・米国では、6月のFOMC（米連邦公開市場委員会）声明文において、米国経済は今後緩やかなペースで拡大するとの見通しが維持された一方、FOMC参加者の政策金利見通しが引き下げられました。こうした環境下、米国の利上げは非常に緩やかなペースで実施されると見込まれることから、米国金利の上昇幅は限定的と考えます。また、今後も金利上昇が限定的であると見込まれることは、米国社債に対する投資家需要を下支えすると見えています。

### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、現状のバイ・アンド・ホールド戦略を基本として、信託期間終了までに安定的な利子収益の確保をめざす方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年6月30日～2015年6月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	105	1.065	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 54 )	( 0.543 )	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 (再委託先の報酬を含みます。)
( 販 売 会 社 )	( 47 )	( 0.480 )	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 4 )	( 0.043 )	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.019	(b) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 1 )	( 0.014 )	外国での資産の保管等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	( 0.004 )	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0 )	( 0.001 )	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	107	1.084	
期中の平均基準価額は、9,863円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年6月30日～2015年6月24日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカドル 24,919	千アメリカドル 3,561 (1,102)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2014年6月30日～2015年6月24日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	37,442	14,819	39.6	39,307	17,111	43.5
為替直物取引	2,560	2,560	100.0	649	231	35.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2015年6月24日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			千円	5年以上	2年以上
アメリカ	18,306	18,982	2,351,553	97.8	38.7	—	97.8	—
合 計	18,306	18,982	2,351,553	97.8	38.7	—	97.8	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	普通社債券					
	2.25 EXPRESS SCRI 190615	2.25	250	247	30,705	2019/6/15
	2.375 FIRST REPUB 190617	2.375	250	249	30,874	2019/6/17
	2.4 ENABLE MIDSTR 190515	2.4	50	48	5,971	2019/5/15
	2.45 ACTAVIS FUND 190615	2.45	250	248	30,781	2019/6/15
	2.55 VERIZON COMM 190617	2.55	50	50	6,266	2019/6/17
	2.6 BANK OF AME 190115	2.6	750	757	93,800	2019/1/15
	2.6 WESTERN GAS P 180815	2.6	40	40	4,991	2018/8/15
	2.625 BIOMED REAL 190501	2.625	725	720	89,251	2019/5/1
	2.65 BUCKEYE PART 181115	2.65	100	99	12,325	2018/11/15
	2.65 KINDER MORG 190201	2.65	250	247	30,662	2019/2/1
	2.7 DCP MIDSTREAM 190401	2.7	50	47	5,843	2019/4/1
	2.7 ENLINK MIDSTR 190401	2.7	50	49	6,115	2019/4/1
	2.75 PROLOGIS LP 190215	2.75	150	151	18,816	2019/2/15
	2.75 XEROX CORPOR 190315	2.75	50	50	6,271	2019/3/15
	2.875 INGERSOLL-R 190115	2.875	200	202	25,147	2019/1/15
	3 ARC PROP OPER P 190206	3.0	750	714	88,496	2019/2/6
	3.25 SENIOR HOUSI 190501	3.25	550	551	68,301	2019/5/1
	3.4 AMERICAN TOWE 190215	3.4	300	306	38,003	2019/2/15
	3.5 GENERAL MOTOR 181002	3.5	910	935	115,870	2018/10/2
	4.25 DISH DBS CO 180401	4.25	380	390	48,420	2018/4/1
	4.375 FOREST LABO 190201	4.375	520	549	68,075	2019/2/1
	4.375 SANMINA COR 190601	4.375	475	477	59,137	2019/6/1
	4.45 ROCK-TENN CO 190301	4.45	300	317	39,390	2019/3/1
	4.625 AIRCASTLE L 181215	4.625	150	155	19,254	2018/12/15
	4.875 ICAHN ENTER 190315	4.875	750	775	96,092	2019/3/15
	4.875 ISTAR FINAN 180701	4.875	50	49	6,139	2018/7/1
	4.875 Navient Cor 190617	4.875	600	603	74,792	2019/6/17
	5.25 PHI INC 190315	5.25	50	47	5,854	2019/3/15
	5.5 CIT GROUP INC 190215	5.5	50	52	6,503	2019/2/15
	5.8 AT&T INC 190215	5.8	40	44	5,547	2019/2/15
	5.875 DELL INC 190615	5.875	810	860	106,614	2019/6/15
	6 PEABODY ENERGY 181115	6.0	550	311	38,580	2018/11/15
	6 TRANSOCEAN INC 180315	6.0	500	505	62,559	2018/3/15
	6.25 INTL LEASE 190515	6.25	810	880	109,122	2019/5/15
	6.3 JPMORGAN CHA 190423	6.3	500	572	70,881	2019/4/23
	6.5 EH HOLDING CO 190615	6.5	46	50	6,261	2019/6/15
	6.5 LINN ENERGY L 190515	6.5	355	300	37,270	2019/5/15
	6.875 CF INDUSTRI 180501	6.875	40	45	5,592	2018/5/1
	6.9 SPRINT CAPITA 190501	6.9	580	598	74,185	2019/5/1
	7 RIALTO HLDS LLC 181201	7.0	50	52	6,472	2018/12/1
	7.375 CSX CORP 190201	7.375	50	58	7,257	2019/2/1
	7.5 GOLDMAN SACHS 190215	7.5	775	910	112,818	2019/2/15
	8.125 NAVIOS MARI 190215	8.125	80	64	7,990	2019/2/15
	8.5 PRIDE INTERNA 190615	8.5	100	118	14,643	2019/6/15

銘柄	当 期 末				償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
普通社債券	8.625	630	721	89,360	2019/2/15
	8.7	80	96	11,966	2019/3/15
	8.75	300	369	45,766	2019/6/15
	8.75	130	158	19,649	2019/5/1
	8.75	760	903	111,906	2019/2/14
	9.0	450	539	66,806	2019/4/15
	9.375	180	189	23,496	2018/3/15
	9.5	600	621	76,929	2018/10/15
	9.5	410	366	45,457	2019/4/15
	9.625	430	502	62,255	2019/3/1
合 計				2,351,553	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2015年6月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,351,553	% 95.5
コール・ローン等、その他	110,214	4.5
投資信託財産総額	2,461,767	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(2,399,139千円)の投資信託財産総額(2,461,767千円)に対する比率は97.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=123.88 円		
-------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年6月24日現在)

項目	当期末
(A) 資産	4,821,293,390
コール・ローン等	82,530,644
公社債(評価額)	2,351,553,169
未収入金	2,359,526,260
未収利息	27,683,317
(B) 負債	2,418,027,158
未払金	2,400,539,097
未払解約金	4,784,653
未払信託報酬	12,656,773
その他未払費用	46,635
(C) 純資産総額(A-B)	2,403,266,232
元本	2,455,957,446
次期繰越損益金	△ 52,691,214
(D) 受益権総口数	2,455,957,446口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,785円

○損益の状況 (2014年6月30日～2015年6月24日)

項目	当期
(A) 配当等収益	132,931,439
受取利息	132,931,439
(B) 有価証券売買損益	△ 30,603,288
売買益	619,192,063
売買損	△649,795,351
(C) 有価証券評価差損益	△130,380,402
(D) 信託報酬等	△ 27,244,113
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 55,296,364
(F) 解約差損益金	2,605,150
(G) 計(E+F)	△ 52,691,214
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 52,691,214

<注記事項>

- ① 設定年月日 2014年6月30日  
 設定元本額 2,591,514,859円  
 期首元本額 2,591,514,859円  
 元本残存率 94.7%

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は52,691,214円です。

③ 計算期間末における当ファンドの配当等収益額(132,931,439円)から経費(27,244,113円)を控除した額(105,687,326円)に、期末の受益権口数(2,455,957,446口)を乗じて期中の平均受益権口数(2,551,103,828口)で除することにより分配可能額は101,745,594円(1万口当たり414円)ですが、当期に分配した金額はありません。

④ 信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の25.5以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

\* 三菱UFJ投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ(<http://www.am.mufg.jp/>)をご覧ください。

(注) (D) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お知らせ】

① 書面決議を行う場合の受益者数要件の撤廃を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

② 併合手続要件の緩和を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

③ 買取請求の一部適用除外を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

④ 運用報告書の二段階化について信託約款に記載し、所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

⑤ 新たに発行可能となる新投資口予約権を投資の対象とする有価証券に追加し信託約款に所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

⑥ デリバティブ取引等のリスク量計算を規格化し、定量的に規制する旨を信託約款に記載し、所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

⑦ 2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されます。